

体験

おうしゅうG.T推進協議会は、10月7日から9日まで、大阪府富田^{たけふ}林市にある府立金剛高校（榎本直之校長・生徒800人）の教育旅行の受け入れを行いました。今回、同校の2年生255人が2泊3日の日程で、水沢・江刺・前沢・胆沢各区の農家（今回の受け入れ農家は69戸）に民泊し、農業体験などを行いました。

その受け入れ農家である、江刺区の菅原恵美子さんのお宅では、今回、女子生徒5人を受け入れ。農作業はもちろん、生活全般で一緒の時間を過ごし、家族同然に触れ合いました。これが農村と都市との交流のひとつの形です。

ここでは、3日間の農村生活体験から、生徒たちの生き生きとした表情の一部を紹介합니다。

■菅原家での受け入れ日程

- 【10月7日（月）】
 17:30 出迎え
 18:00 ミーティング（日程確認、自己紹介）
 18:30 夕食（準備お手伝い）
 【10月8日（火）】
 7:00 朝食（準備お手伝い）
 9:00 水田作業（稲刈り）
 10:00 たばこどき
 12:00 昼食（その後、お昼寝）
 14:00 畑作業（カボチャの収穫など）
 15:00 おやつ
 16:00 ハウス内作業（小松菜の種まき）
 17:00 温泉入浴
 19:00 夕食（準備お手伝い）
 【10月9日（水）】
 6:00 朝食
 7:00 見送り（お別れ）

※時刻はおおよその目安です



1 農家に到着し、まずは自己紹介とミーティング。少し緊張の面持ちです 2 夕食では郷土料理の“おもち”を食べました。おうしゅうG.T推進協議会は“おもち”か“はっと”で“おもてなし”の伝統を伝えています 3 農作業の合間の“たばこどき”は楽しみのひとつ。“がんづき”も食べました 4 稲を乾燥させるための“ほんによ掛け”も体験 5 榎本校長も巡回しながら農業体験の様子を視察 6 ハウスではプチトマトを収穫し、その場で味見 7 農作業の後は近くの温泉で汗を流します



効果

体験することでの効果

農村生活を体験するG.Tは、その体験の中で“心の豊かさ”に触れることにより情緒が安定し、明るさや活気が出たり、我慢強くなったりするなど、精神的側面の効果が期待できるといわれています。

「初めての経験なので、こちらに来るまでは不安でしたが、菅原さんがとてもいい人で安心しました」と話す上杉晃さんは、「ご飯も美味しく、風景も映画みたいでとても感動しました」と笑顔で話してくれました。さらに、「普段スーパージなどに並ぶ米や野菜を作っている農家の苦労も、少しだけ理解できました。これからは、それに感謝する気持ちで忘れないようにしたい」と農業の大変さを理解するとともに、食べ物がある

たさを感じたようです。

「生徒が農家の皆さんとあいさつを交わしたり、きちんとお話しできるのか心配でした」と語る榎本直之校長は、「農家の皆さんとの交流はまたとない体験。実際に土に触れる農業体験を生徒に経験させたいと考え、修学旅行に農家民泊を組み入れました」とその狙いを話してくれました。「生徒たちは貴重なものを学び、行ってよかった」「農家の家族とたくさんお話ができた」「もう一度行ってみたい」などの声もあり、生徒たちも喜んでいきます。奥州市の農家の懐の深い受け入れ体制に感謝します」と、榎本校長も今回の修学旅行の成果に満足しているようでした。

G.Tは、自然環境と触れ合うことで、生命の尊さや学ぶことができ、また、共同作業や集団生活を行うことで、あらためて友達や家族との関係を考え直す機会にもなります。

受け入れ側の効果

「違った環境で生活している人は、感性が違うのではないだろうか」と語る菅原さ

んは、「都会の子どもたちは自然の中で、ちよつとしたことでも感動します。それを見ると、普段の生活で自分が気付かないことに気付かされ、地域の素晴らしい面に気づく機会になります」と目を輝かせながら話してくれました。また、菅原さんは、「教育旅行の受け入れの準備のために、事前に考えることもあり、普段の生活に張り合いが出ました。いろいろと考えるのが楽しいんです」と元気な子どもたちに接する充実感や達成感から、このG.Tそのものが生きがいとなっているようです。さらに、「教育旅行の受け入れに向けて、農業体験の内容などを家族内で話し合うため、家族の会話が増えたことがいちばんの収穫ですね」と菅原さんは家族のつながりを再確認できる喜びも語ってくれました。

G.Tは、農家としての副収入が期待できるだけでなく、受け入れのために親戚などが手伝いに来る場合もあり、親戚や近隣との交流が密になる効果なども考えられます。



受け入れ農家

菅原恵美子 さん(70)

夫婦二人三脚で、教育旅行の受け入れを始めて5年。水田面積は1.3haで畑の面積は10a。えさしG.T推進協議会の会長を務める。夫と長男の3人暮らし

